

実習内容
ならびに
スケジュール

医療クオリティマネジメント

曜日	時間	内容	担当	集合時間	集合場所
月					
火					
水					
木	9:00	スキルスラボでのシミュレーション実習 口頭試問	高橋 平山 山口	9:00	臨床教育統括センター 1号館4階 0798-45-6627
金	13:00 14:30	医療安全管理部業務説明 院内安全ラウンド・薬剤部見学 医療倫理多職種カンファレンス	医療安全管理部員 高橋 江口 笹沼		医療安全管理部 2号館2階西側 0798-45-6710

◎ 診療科名： 医療クオリティマネジメント

◎ 責任者氏名： 高橋 敬子 准教授

◎ 指導教員氏名：

江口 明世 講師（医療クオリティマネジメント学）

笹沼 直樹 兼担教員（医療クオリティマネジメント学）

医療安全管理部員 臨床教育統括センター教職員

◎ 実習概要

患者安全の確保の視点を盛り込んだスキルスラボでのシミュレーショントレーニングと口頭試問、院内での医療安全管理部業務の紹介と実践、薬剤部見学を行う。実際に直面する医療倫理的な問題に対して多職種カンファレンスを行う。本実習を通じて将来の医師としての職責と自覚を得る。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- ・スキルスラボでの課題において安全に配慮した手技ができる
- ・医療機器、医療材料の安全な扱い方を述べるができる
- ・特定機能病院の医療安全体制について理解することができる
- ・院内での患者向け安全配慮を指摘することができる
- ・薬剤部業務を理解することができる
- ・医療倫理に関する問題について多職種議論に参加することができる。

◎ 事前学修内容(時間)

- ・4年次開講科目「医療安全管理と薬害」での学習内容を復習しておくこと（2時間程度）
- ・プレクリニカル教育で学習したマネキントレーニングを復習しておくこと

(30分程度)

◎ 評価方法

(知識、技能、態度についてS、A、B、Cで評価。評価基準をルーブリックで明示)。

	S	A	B	C
知識	あたりまえのうまくいった医療について説明ができる。	過去の有害事象(医療事故)を契機に導入された我が国の医療安全システムの説明ができる。	インシデントレベルの分類ができる	インシデントレポートの意義について説明できる
	幅広い知識を有し、先取り型の医療安全に取り組むことができる	国家試験レベルの知識は有している	一部の知識を有しているが、実際の臨床の流れがイメージできていない	患者安全の確保の意義が理解できておらず、学習態度はどうあるべきとの知識も有していない(実習に正当な理由がなく欠席した場合も含む)
技術	課題のみでなく、さらに応用発展した思考での実習ができています	課題をこなすことができます。	課題をこなすことは困難であるが、課題内容の説明ができる	課題をこなすことができず、内容の説明もできない
	臨床研修医としても通じる技術を有し、他者に指導や助言ができる	他者へ指導は困難であるが、student doctorとして許容できる技術を有している	今後のトレーニングで改善が見込まれる	自分ができない問題点を見いだせない(欠席の場合も評価不能としてここに該当する)

態度	指導者のみでなく、グループメンバーに対しても配慮があり、リーダー/ フォロワーとして活躍している	グループ内で協調した態度で実習に臨んでいる	白衣の汚れや乱れが目立ち、身だしなみも整っていない	名札を付けていない。実習に対する意欲が見えない。喫煙臭がする。
	実習で接するメディカルスタッフに対しても敬意ある態度で臨んでいる	挨拶ができる	挨拶ができない	正当な理由のない欠席や遅刻

◎ パフォーマンス評価

木曜午前・金曜午後のすべてを総合して知識・技術・態度の評価を行うため全過程に出席しなかった者は全項目評価不能（C判定）として扱う

◎ 中間評価とフィードバック

木曜午前・金曜午後の各単元の終了時に、その場でフィードバックを行う

◎ 注意事項

- ・木曜日と金曜日で集合場所が異なるため十分に確認すること
- ・集合時間を厳守すること
- ・体調不良でやむなく欠席する場合は、欠席が確定した時点で、その時間の実習場所に連絡し欠席を伝えること。
- ・補講は正当な理由で欠席と認められた者で、かつ本人から補講の希望があった場合のみ実施する。
- ・シミュレーションの時間であっても、病院内施設で行うため、名札、白衣着用の上、身だしなみには十分に留意すること